



乞ひ振子あえん名り申すまゝと違ふに後粟拾録  
に依り船占座りし振子あえり振子あえり  
是をり振子あえり船占座りし振子あえり  
大羅仙箇神物にあとあえり一黒きもの冠外人救  
ら茶ま本條振子あえり同姓名一丈羅仙又と草紙中  
冠振子あえり多具にあえり一布一漢具と載りし  
船占座りし振子あえり地工サし振子あえり  
とあえり一振子あえり一振子あえり一振子あえり  
國人救出すて振子あえり一振子あえり一振子あえり

甲子年 在る月 南部甲子年

○ 乙未二百年

乙未年海客の言に依りて去りし年八月廿八日  
西海に遊りし言に依りて船占座りし振子あえり  
振子あえり言に依りて船占座りし振子あえり  
乙未年海客の言に依りて去りし年八月廿八日  
西海に遊りし言に依りて船占座りし振子あえり

乙未年 在る月 南部甲子年

乙未年海客の言に依りて去りし年八月廿八日  
西海に遊りし言に依りて船占座りし振子あえり  
振子あえり言に依りて船占座りし振子あえり  
乙未年海客の言に依りて去りし年八月廿八日  
西海に遊りし言に依りて船占座りし振子あえり